

「第3次笛吹市観光振興計画」(案)に対するパブリックコメント募集結果について

令和5年2月15日(水)～令和5年3月16日(木)に行った「第3次笛吹市観光振興計画」(案)についてのパブリックコメント募集の結果は、次のとおりです。

○パブリックコメント募集結果

電子メールでの提出：5件

※提出は5件でしたが、複数の項目にまたがる内容であったため、次のとおり内容ごとに15件に振り分けました。

○意見の反映状況

No.	反映区分	件数
1	意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	2
2	今後の取組で参考にするもの	13
合計		15

提出No.	意見No.	提出された意見・質問の概要	市の考え方	結果
1	(1)	笛吹市には大蔵経寺山、芦川の黒岳、釈迦ヶ岳、その周辺には大菩薩峠、乾徳山、西澤溪谷、大弛峠から金峰山・甲武信ヶ岳への人気あるトレッキングコース、ハイキングコースが数多くあり毎年多くのお客様が訪れています。山歩きをする方への訴求がまだまだ弱いので、コース整備・開発を行い観光客・温泉宿泊客の獲得を目指す。	本計画(案)の基本方針1「地域資源の保全と活用」の中の施策「安心して楽しめる市内ハイキングコースの整備」に合致するものと考えます。	1 意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの
	(2)	石和温泉は他の温泉地と比べて旅館が広範囲に広がっているため、各施設をゾーニングし、各ゾーニングにコア施設(土産物店・飲食店)を設置する。	観光振興に関する取組の参考とします。 本計画(案)の基本方針1「地域資源の保全と活用」の中の施策「温泉街の賑わい創出のための環境整備」に基づいて、市内観光事業者とも協議し、検討します。	2 今後の取組で参考にするもの
	(3)	観光案内の際、特にフルーツ狩りの情報が分かりにくくお客様に案内するとき戸惑うことが多々あるので情報の一元化が必要。スマホのアプリ開発をして、端末から簡単に情報アクセスできるようにする。	観光振興に関する取組の参考とします。 本計画(案)では、基本方針6「新たな組織づくりの確立と広域連携の推進」に基づいて、旧町村単位の観光協会を統合し、情報発信及び観光案内の窓口機能を一元化することとしています。 スマホ等を活用した情報発信は、観光農園とも協議し、検討します。	2 今後の取組で参考にするもの

	(4)	<p>インバウンドについては以前の通過型ではなく、笛吹のフルーツを前面に出し、高品質をうたい笛吹市を周遊するコース設定が必要。特に桃は中国系の方には魅力がかなり高い。イスラム圏等、宗教上食事制限があるお客様の増加に伴い、専用に適用した食事を作るのは各施設への負担がかなりあるため、共通の食材提供施設があればありがたい。リニア新幹線が開通すれば東京～山梨間の体験乗車が期待できる（東海道新幹線でも起きていた現象）ので、リニアを絡めたプロモーションがおもしろいのではないか。</p>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>インバウンド観光は、本計画（案）の基本方針4「インバウンド観光の推進」において、推進を図っていきます。</p> <p>宿泊施設での泊食分離は、本計画（案）の基本方針1「地域資源の保全と活用」の中の施策「宿泊施設での泊食分離の促進」に基づいて、市内宿泊施設や飲食店と連携して促進します。</p> <p>また、リニア中央新幹線の開業に合わせたプロモーションについても、関係事業者と協議し、検討します。</p>	2 今後の取組で参考にするもの
2	(5)	<p>私共は、旅館業を営んでおります。どの業界にも言えることですが、コロナ渦に於いて先が見えない大変厳しい時期を過ごしました。そんな状況の中、笛吹市は、全国に先駆け観光客の積極的な誘致をしてくれました。ほんとうに感謝しております。私たち業界も、観光庁などいろんな補助金にチャレンジし各旅館の高付加価値化やバリアフリー化など、多くのお客様を受け入れられる準備をしております。国の主要産業でもある観光業として、山梨県の立地の良さ、自然、果物、水を活かし国内の観光客はもとより、海外からのインバウンドを受け入れる可能性は、非常に大きいと考えております。観光推進計画にもあるように、今後も、笛吹市も主要産業として、果物、ワイン、観光など積極的な誘致やイベントの開催や、福祉にも繋がる、バリアフリーなどの整備など、積極的な市政運営をしていただくようお願いしたいと思います。</p>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本市の立地の良さや豊富な地域資源を活かした観光客の誘致は、引き続き積極的に行っていきます。</p> <p>また、バリアフリーを含めたユニバーサルデザインの考え方についても、本計画（案）の基本方針2「医療機関との連携」に基づいて、積極的に推進していきます。</p>	2 今後の取組で参考にするもの
3	(6)	<p>関東圏からの集客力が強い笛吹市。しかしながら、石和温泉郷の認知度は「熱海」・「箱根」などのブランドのあるエリアに比べると劣っている。特に若年層への認知度が乏しく、年配の方で昔の会社の旅行での宴会に行く場所というイメージを抱いたままの方も多し。「温泉の泉質」は著名な温泉地に負けず劣らず良質であるため、[第9章実施計画 基本方針5. 情報発信]の強化にて、まずは関東圏へ向けた今の「笛吹市」「石和」のアプローチを最大限に強化することで以前のイメージの払拭を図り、そうすることで自然と関東圏外にも広まっていくと考えております。</p>	<p>本計画（案）の基本方針5「情報発信の強化」に合致するものと考えます。</p> <p>関東圏からのアクセスの良い立地を活かして、「笛吹市」の認知度向上を図るため、観光プロモーションを強化します。また、中部横断自動車道（静岡・山梨間）が全面開通したことや、今後リニア中央新幹線が開業予定であることなど、大幅な交通改善が進んでいる状況を活かして、中京圏や関西圏にも積極的に情報発信をしたいと考えています。</p> <p>情報発信の方法としては、SNSを積極的に活用して、若年層の観光客獲得を目指します。</p>	1 意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの

	(7)	<p>前述しました通り、コロナ禍後の販売促進については、「個」の集客ではなく、「面」での集客が重要であると考えております。観光振興計画の内容は現状分析からガイドラインとして非常に深く作り込まれております。この振興計画をこの先、強い推進力を待たせ進めていくためには個々の力が必要不可欠と存じます。逆を言えば、町ぐるみでの取組無くしては本計画も成立しないと考えます。各施設（個人）が最低限しなければならない取り組みも当然出てくるのが予想され、ハード面・ソフト面において「いつ・誰が・何を・いつまでに」実行すべきかが具体的にどれだけ明確化されるか＝推進力となり得ると考えておりますので、観光産業に従事する全ての人が、5年後10年後の目標を共有認識するために、目指す目標のビジュアルを描いて頂きながら、今何をすべきかの足元のレールを敷いて頂けたら各自行動しやすくなるのではないかと考えております。</p>	<p>本計画の策定後は、広く市民の方に公表し、本市の観光振興の目指すべき方向性を共有します。</p> <p>また、計画の実現に向けては、本計画の進行管理や施策評価、数値目標の見直しなどを行う組織として「笛吹市観光振興計画推進委員会（仮称）」を設置します。行政だけでなく、観光関連事業者などの地域全体が一丸となって観光地域づくりに取り組んでいきます。</p>	2 今後の取組で参考にするもの
4	(8)	<p>■温泉街</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な「雰囲気」より、体験、会話、感動などコミュニケーションが取れる場所を小さく沢山作る方が良いのかも。ハードでの「雰囲気」より、楽しんでいる光景を沢山作ることが「雰囲気」に繋がる</li> <li>・若者、女性、ファミリーが楽しめる小規模アクティビティやエンタメ（ここにしかない遊び、遊び場）を作る</li> <li>・内需を高めることが重要。温泉街には市外から仕事に来ている関係人口は多いと思う（旅館、温泉病院、リハビリテーション、大手ワイナリーの職員）。また市役所（本庁、春日居）も近隣にあり、マンションも多いので市民・住民も多い。</li> </ul> <p>この方々が日常的に（ランチ、休憩、通勤帰り）に利用してくれることが、店舗運営事業者には安定経営につながる。空き店舗には、コーヒーや紅茶のスタンド、ベーカリー、ランチが出来るカフェ、ワークスペースを誘致できれば（出来れば県内事業者）良いと思う。当然、商品やサービスに魅力は必要。</p> <p>→地元人気店には観光客も目を向ける</p>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本計画（案）の基本方針1「地域資源の保全と活用」の中の施策「空き店舗、空き家の活用」に基づいて、積極的に市内の賑わい創出を図っていきます。</p> <p>ハード、ソフトの両面で温泉街の魅力的な雰囲気づくりを行い、観光客からの外需だけでなく、市民からの内需も高めるような取組を促進します。</p>	2 今後の取組で参考にするもの
	(9)	<p>■健康・スポーツ・運動・ペット</p> <p>コロナも経て、より健康に気を遣う人が多くなった。（体や心を整える）</p> <p>特に温泉街は適していると感じた。さくら温泉通り＝フラット、その先にはみんなの広場、当然温泉がある、フルーツがある。</p> <p>ランニング、ウォーキング、散歩、ワンちゃん散歩の方々がかなり多いのが特徴。通り沿いに「ストレッチ・筋トレができるスタンド」ランニング、ウォーキング後に“締め”利用してくれるスポット。フレッシュジュースやプロテインも飲めるスタンド。</p> <p>「ペット用温泉コインシャワー」散歩や外出の帰りにワンちゃんなどが綺麗になって帰宅できる。多分、自宅の浴室でシャワーをしているはずなので、そこを補える。簡単なトリミング道具設置や県内産の無添加ペットフードの販売なども。以上、いずれも会員制も設ける</p> <p>「宿でも健康」食事健康食プラン設置（完全事前予約）、空いている部屋（宴会場、会議室など）をストレッチや簡易的なジムルームに。</p> <p>合宿も良いが、個人や小グループの高単価も。しっかり消費して、心技体整えて、リピートしてくれる方。</p>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本計画（案）の基本方針3「通年型観光の確立（教育旅行の推進）」に基づいて、民間事業者のノウハウを活用した新たな集客イベントの開催を支援します。</p> <p>ご提案いただいた内容は、関係事業者と協議し、検討します。</p>	2 今後の取組で参考にするもの

	(10)	<p>■ワイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイナリー巡りを楽しんだ方が宿でも更に楽しめること。</li> </ul> <p>宿の夕食とペアリング提案。飲食店にてペアリング提案。</p>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本計画（案）では、第6章「笛吹市の観光資源分析」において、ワインを重要な資源と位置付けています。今後の活用は、市内事業者と協議し、検討します。</p>	2 今後の取組で参考にするもの
	(11)	<p>その他</p> <p>■旅先納税や電子商品券キャンペーンの更なる推進</p> <p>笛吹市に来訪しないと体験できない</p> <p>楽しみながら周遊、消費してもらえる</p> <p>全てキャッシュレス決済</p>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本計画（案）の基本方針3「通年型観光の確立（教育旅行の推進）」の中の施策「体験型ツーリズムの検討・実施」に基づいて、推進します。また、基本方針4「インバウンド観光の推進」に基づいて、キャッシュレス化を推進します。</p> <p>他市と差別化を図る観光施策に関しては、引き続き関係事業者と協議し、積極的に実施していきます。</p>	2 今後の取組で参考にするもの
5	(12)	<p>私は移住者です。東京から笛吹市に移住して10年が経ちました。その前、2年くらい仕事で月に1～2度東京から塩山・甲府に来ていました。飲んで石和に泊まろうかな？と思ったことがありますが、当時は一人では泊まれない、温泉街が遠くて歩いて行けない、ということがネックで、泊まったことがありませんでした。</p> <p>鳥飼や花火もやはり駅から歩いて行くには遠い印象でした。現在も公共交通機関の弱さが指摘されています。笛吹市を訪れる観光客の1位は東京からです。が、23区内に住む都民は67%が車を持っていません。</p> <p>今年に入り観光バスをよく見かけるようになりました。以前は団体旅行のお客さんがバスで旅行をしましたが、今のバスツアーは個人客中心です。バスツアー以外にも家族・小グループ・夫婦・カップル・一人旅など、少人数の個人客が今後増えることは間違いなく、実際に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅やバスターミナルなどからアクセスが良い</li> <li>・ 宿と飲食街・ショッピング街が隣接している</li> <li>・ 温泉街の中にいくつか観光スポットがある</li> </ul> <p>こういった温泉街はとても賑わっています。草津温泉、熱海、修善寺、箱根、山中温泉、別所温泉、道後温泉、有馬温泉。この辺りに近年行きましたが、どこも個人客が楽しそうに散策していて、特に若い世代のグループが目につきました。</p> <p>一方の石和温泉ですが、温泉街らしい地域というならやはり「湯けむり通り」「さくら温泉通り」だと思います。しかしそぞろ歩きを楽しめるような風情がありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どちらの通りも抜け道化していて車の通行量が多い</li> <li>・ 川沿いに遊歩道があるが、川の中があまり綺麗ではなく、道沿いの景色も宿の間に宿の駐車場、一般の</li> </ul>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本市でも、温泉街の賑わい創出は課題として認識しており、本計画（案）の基本方針1「地域資源の保全と活用」の中の施策「温泉街の賑わい創出のための環境整備」に基づいて取組を進めます。</p> <p>石和源泉足湯ひろばは、石和温泉旅館協同組合や民間事業者が主体となって、マルシェやワインバー、ビアガーデンを行うなど、集客につながるイベントを開催しています。今後の活用は、民間事業者と協議し、検討します。</p> <p>また、石和源泉足湯ひろばの隣には、山梨県企業局石和温泉管理事務所があります。周辺の景観等の御意見については、安全性も考慮する必要があるため、別途検討します。</p>	2 今後の取組で参考にするもの

	<p>住宅、空き店舗、ビニールハウス、廃材置き場が見えてイメージが悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業している店舗も飲み屋、スナック、女性のいる店等が多く、買い物を楽しむような店がない</li> <li>・観光スポットがない（足湯広場があるが、規模が小さく、温泉宿の客には訴求力がない）</li> <li>・駅から地域に結ぶ公共交通がなく、徒歩の場合の歩道がない</li> </ul> <p>ざっと思いついただけでも、これらたくさん問題点があり、個人客が宿の外で楽しめる様子ではありません。しかしながら、この石和温泉街が活性化することが、笛吹市全体の観光の発展に大きな意味を持つと私は考えます。そこで考えたのが以下のような改善案です。</p> <p>「足湯広場を中心に集客の流れを作る」</p> <p>温泉街の中心にある足湯広場が、あまり生かされていません。全国でみても足湯は巨大化もしくは高級化しており、石和の足湯広場には観光客を呼ぶほどの魅力がありません。現状一箇所しか使用されておらず、平日は休みも多いです。またぐるっとフェンスで囲まれ、メインの通りは門があって「入っては行けない場所」のように見えてしまっています。駐車場の案内も小さく分かりにくく、常時工事現場の車が止まっていて、施設隣の温泉組合か何かの建物や敷地に観光地らしさが無く、廃材が積んであり景観が悪いです。しかしながら1号源泉があり、駐車場も広く、改善の余地はかなりあると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの柵は取り除き、全方位からアクセスできるようにする</li> <li>・源泉をモニュメント化し、湯が沸きだすところを見せるなどして、観光スポットにする</li> <li>・他の部分は「街の駅」化する。産直の野菜や果物、工芸品、地元のお土産品などを売るコーナー、そして「ラーホー」が食べられる店を数件並べ、食べ比べできるようにする。これらは大きなものを建てる必要はなく、テントやユニットハウスでもいい。流行りの小屋が並ぶのも可愛く、集客力も高い。</li> <li>・周辺の宿は現状、土産コーナー・売店を持っているところがほとんどかと思うが、採算はそう高くないように思う。街の駅への出店を周辺宿に委託するのもいいかもしれない。宿側も売れ筋のみに絞るか、コンビニ的な品揃えにするなど、時代に合わせて現売店を見直すチャンスとなる。</li> <li>・隣の建物については整理整頓し、特にメイン通りに面する所の美化をお願いする</li> </ul>		
(13)	<p>「遊歩道・歩道を整理し、道路の通行規制を行う」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウッドデッキや歩道が設けてない所の整備→大掛かりな工事をしなくともカラー塗装で人と車を視覚的に分けることができる</li> <li>・駅から統一した看板をつけて、それを迎えば「さくら温泉通り」までつながるようにする</li> <li>・各宿の駐車場が温泉通りを出入り口とするため、計画が難しいが、最初はわずかな区画だけでも良いので車が通らず歩行者が安心して歩ける区画を作る。</li> </ul>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>ウッドデッキや歩道、看板の整備は、宿泊施設や観光事業者とも協議し、検討します。</p> <p>さくら温泉通りの道路の通行規制は、ご認識のとおり各宿泊施設の駐車場への進入路でもあるため、実現は難しいと考えます。</p>	2 今後の取組で参考にするもの

<p>(14)</p>	<p>「新しい観光資源を作る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗や空き施設を活用し、小規模なところは金銭的な補助を入れて店子が入りやすくする</li> <li>・テーマ性を持たせる</li> <li>・湯けむり通りにパチンコ店の建物があるが、大きな建物や駐車スペースの広さを生かして、観光施設を作る。例えば屋内バラ園、錦鯉展示場、海老釣り、武将と刀の博物館など</li> <li>・宿が個別にフェアやキャンペーンをするのではなく、一帯の宿で共同でイベントを起こす。湯めぐりやお得なサービスなど。</li> <li>・冬の集客として、ウッドデッキや足湯広場で夜間「テントかまくら」を開催する。白いドーム状のテント内に、コタツを設置し、有料でスペース貸しする。飲食は持ち込み OK とするが、予約でデリバリーを用意・販売しても良い。テント内にランタンを点ければ、白く丸いシルエットが浮かびかまくらみたいに見える。桜の木のライトアップと並びインスタ映えもするし、冬の新しい風物詩になりそうです。</li> </ul>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本計画（案）では、基本方針1「地域資源の保全と活用」の中の施策「空き店舗、空き家の活用」に基づいて、温泉街に店舗を誘致し、交流人口を増やすことで賑わい創出を図っていきます。</p> <p>宿泊施設でのイベントやサービスは、石和温泉旅館協同組合や春日居温泉旅館組合、観光協会、各宿泊施設と協議しながら、積極的に促進します。</p>	<p>2 今後の取組で参考にするもの</p>
<p>(15)</p>	<p>「公共交通機関の整備」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎バスの集約化。各宿がそれぞれ行っている送迎を一本化し、巡回シャトルバスを参加グループで運営する。有料でもいい。一本化することで各宿のコストダウンになる。有料にすることで、宿泊客以外にも利用してもらおう。</li> <li>・また、現在新宿への高速バスは411号線に発着しているが、そのバス停を足湯広場に移動させることができれば、お客様の利便性も向上する。411号線が渋滞することが多くなったため、山梨学院から6号へ抜け JR 石和温泉駅前を通り温泉街を抜けて、笛吹橋から20号へというルートの方が、渋滞する時間は早いと思う。全便でなくともいいので、宿泊客のチェックイン・アウトに便利な時間の便のみでも実験的に行ってみたいはどうか。</li> </ul> <p>以上、素人の意見で恐縮ですが私のご提案とさせていただきます。 貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。</p>	<p>観光振興に関する取組の参考とします。</p> <p>本計画（案）では、基本方針1「地域資源の保全と活用」の中の施策「『点』と『点』を結ぶ2次交通の整備」に基づいて、公共交通機関の活用を検討しています。</p> <p>各宿泊施設が行っている送迎バスについては、市で管理しているものではないため、御意見のような要望が宿泊施設側にあるかどうかを調査し、検討します。</p> <p>また、高速バスについても、民間事業者が運営しているため、ルートの変更を市が決定することはできません。</p> <p>既存の公共交通機関を、効率よく利用できるような観光案内を実施します。</p>	<p>2 今後の取組で参考にするもの</p>